

京都市内の子育て支援施設を利用されている皆さまへ ～大切な人を守るために、注意いただきたいこと～

1 基本的な感染対策（家庭内にウイルスを持ち込まない）



・生活や健康の維持のために必要な場合を除き、不要不急の外出は自粛！



・感染リスクが高まる「5つの場面（裏面参照）」を回避！

※子どものマスク着用については危険性が指摘されており、特に2歳未満は、マスク着用は不要、むしろ危険との見解も示されているので留意してください。


2 日常生活上の留意点（家庭内感染の防止）



他にも

- ・毎朝の体温測定，健康チェックの実施！
- ・買い物は，一人又は少人数で空いた時間に
- ・食事の際は，大皿は避けて，料理は個々に分ける！ 等

こんな時，どうしよう？

- 
- 発熱等，体調の悪い時
 - ①利用者や御家族に，発熱や倦怠感，のどが痛い等の風邪の症状がみられる場合等は，必ず利用されている施設に連絡のうえ，利用を控えてください。
 - ②そのうえで，まずは身近な医療機関に，まず電話で相談してください。
休日・夜間など受診できる医療機関がない場合は，「きょうと新型コロナ医療相談センター」に相談してください。
電話番号：075-414-5487
受付時間：土・日・祝日を含む24時間
 - ③医療機関を受診した結果についても，利用されている施設に連絡をお願いします。
 - 同居家族等がPCR検査を受ける場合
御本人も早めに出勤や施設利用を控えていただくことにより，後に，同居家族等及び御本人の感染が判明した場合に，濃厚接触者となる方を減らすことができます。
同居家族の方が検査対象となった時点で，施設利用を控え，子どもの感染が判明した場合の他の利用者等への影響を，最小限に抑えましょう。

感染リスクが高まる「5つの場面」

場面① 飲酒を伴う懇親会等

- 飲酒の影響で気分が高揚すると同時に注意力が低下する。また、聴覚が鈍麻し、大きな声になりやすい。
- 特に敷居などで区切られている狭い空間に、長時間、大人数が滞在すると、感染リスクが高まる。
- また、回し飲みや箸などの共用が感染のリスクを高める。



場面② 大人数や長時間におよぶ飲食

- 長時間におよぶ飲食、接待を伴う飲食、深夜のはしご酒では、短時間の食事に比べて、感染リスクが高まる。
- 大人数、例えば5人以上の飲食では、大声になり飛沫が飛びやすくなるため、感染リスクが高まる。



場面③ マスクなしでの会話

- マスクなしに近距離で会話をすることで、飛沫感染やマイクロ飛沫感染での感染リスクが高まる。
- マスクなしでの感染例としては、昼カラオケなどでの事例が確認されている。
- 車やバスで移動する際の車中でも注意が必要。



場面④ 狭い空間での共同生活

- 狭い空間での共同生活は、長時間にわたり閉鎖空間が共有されるため、感染リスクが高まる。
- 寮の部屋やトイレなどの共用部分での感染が疑われる事例が報告されている。



場面⑤ 居場所の切り替わり

- 仕事での休憩時間に入った時など、居場所が切り替わると、気の緩みや環境の変化により、感染リスクが高まることもある。
- 休憩室、喫煙所、更衣室での感染が疑われる事例が確認されている。

